

マークをクリックするとそのページを見ることができます



発生動向総覧
P.2-3

<16週> 手足口病 - 今年になって例年より定点当たり報告数が多い状態で推移しており、ここ3週徐々に増加している / その他最新動向



注目すべき感染症
P.4

<麻疹> 第16週の報告患者総数は1,415で、定点当たり報告数は0.47



病原体情報
P.5

感染性胃腸炎 - ロタウイルスおよびSRSV検出報告 / インフルエンザウイルス分離・検出報告



速報
P.6

日本のAIDS患者・HIV感染者の状況 - エイズ動向委員会柳川委員長コメント(要旨)



海外感染症情報
P.7-8

W135群髄膜炎菌感染症 - 2001年の流行状況 / アフリカ髄膜炎ベルトにおける髄膜炎菌感染症 - 更新



感染症の話
P.9-11

B型肝炎
治療上最も大切な点は極期を過ぎたか否かを見極めることであり、劇症化への移行の可能性に留意しながら対処することが重要である



読者のコーナー
P.12

成人麻疹について



グラフ総覧(16週)
P.13-19



16週のデータ
P.20-27



発生動向総覧

第16週コメント 4月26日集計分

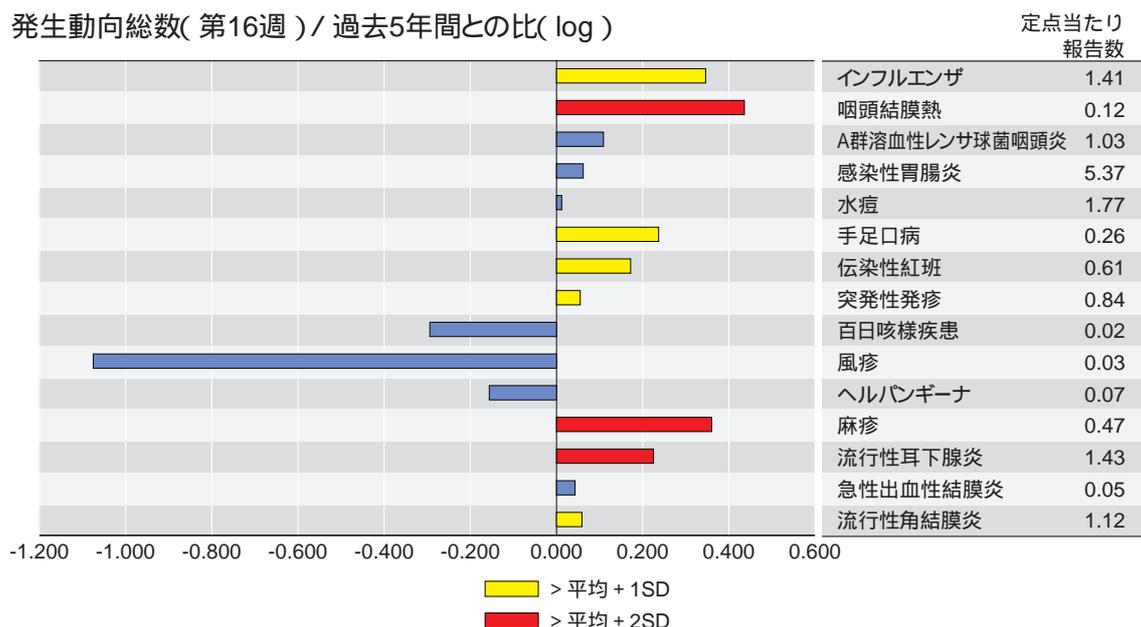
全数報告の感染症

- 1類感染症: 報告なし
- 2類感染症: 細菌性赤痢9例(推定感染地: 国内4例、インド3例、ベトナム、タイ各1例)
腸チフス3例(推定感染地: カンボジア、インド、インド・ネパール各1例)
- 3類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症37例
- 4類感染症: アメーバ赤痢4例、オウム病1例、Q熱1例、ツツガムシ病3例、破傷風1例、
バンコマイシン耐性腸球菌感染症1例
急性ウイルス性肝炎13例 A型10例
B型3例__感染経路: 性行為1例、不明2例
後天性免疫不全症候群8例(AIDS 4例、無症候性キャリア4例)
感染経路: 不明2例、性行為6例(同性間3例、異性間3例)
梅毒2例(晩期顕症1例、先天性梅毒1例)
マラリア2例 熱帯熱マラリア1例__推定感染地: タンザニア
三日熱マラリア1例__推定感染地: インド

定点把握の対象となる4類感染症(週報対象のもの)

麻疹は、過去5年の同時期と比較して定点当たり報告数がかかなり多くなっている(詳細は4ページ「注目すべき感染症」参照)。流行性耳下腺炎も例年と比較して定点当たり報告数がかかなり多い状態が持続している。咽頭結膜熱はオフシーズンとしては例年になく定点当たり報告数がかかなり多くなっている(13ページグラフ総覧、咽頭結膜熱参照)。流行性角結膜炎は宮崎県で定点当たり報告数5.0、茨城県で3.5と多くなっている。

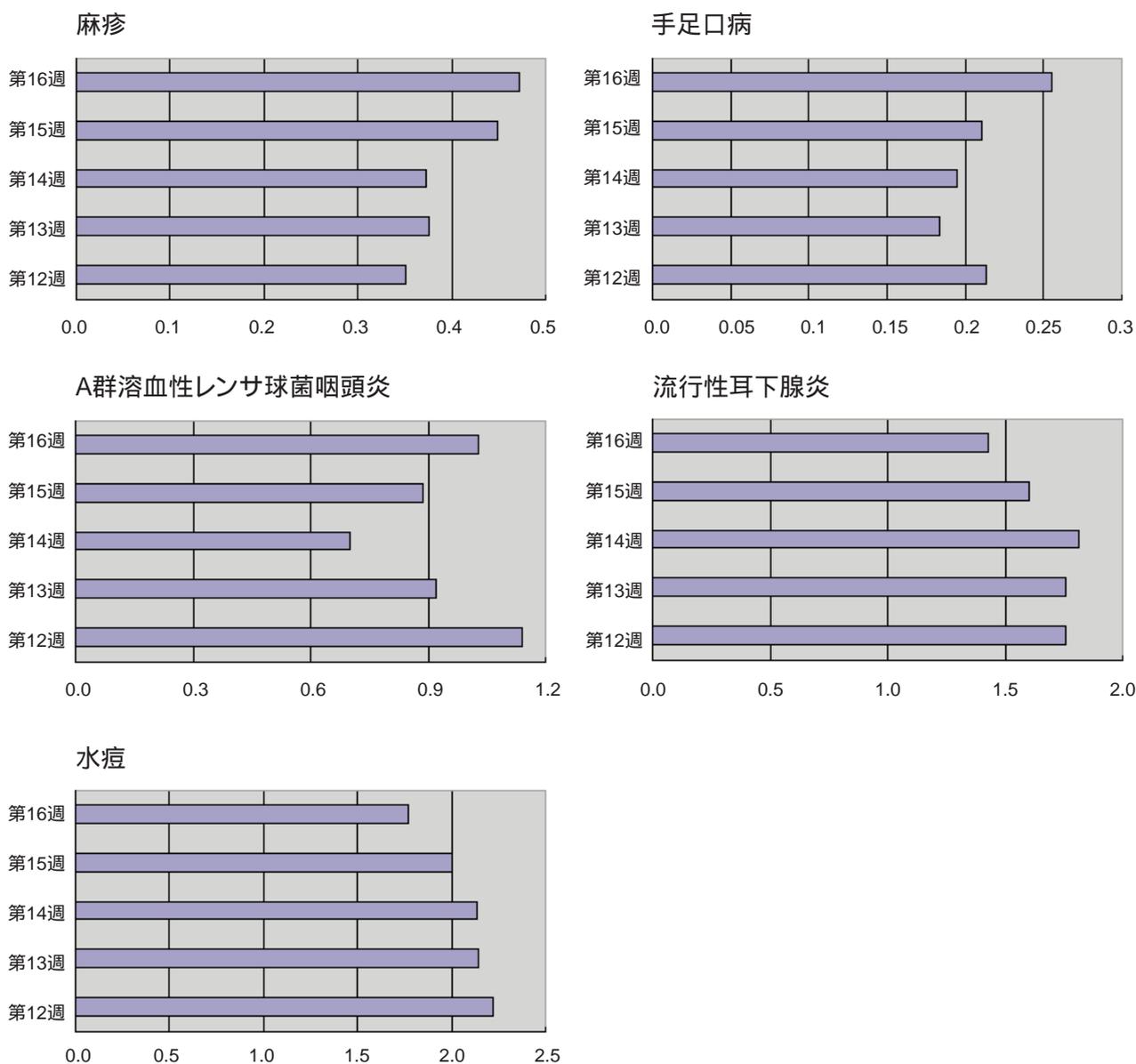
発生動向総数(第16週) / 過去5年間との比(log)



当該週と過去5年間の平均(過去5年間の前週、当該週、後週の合計15週の平均) の比を対数にてグラフ上に表現した。1標準偏差を超えた場合黄で、2標準偏差を超えた場合赤で色分けしている。

最近の注目疾患-5週間の動き

麻疹の定点当たり報告数は前週より増加し、全体として増加傾向にある。麻疹は例年6月ごろまで患者の増加がみられ、過去5年間と比較して定点当たり報告数の多い状態が続いているだけに十分な注意が必要である。手足口病の定点当たり報告数は今年になって例年より多い状態で推移しており、ここ3週徐々に増加している。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は2週連続して定点当たり報告数が増加しており、今後も6月ごろに向け患者数が増加することが予想される。流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は2週連続で前週より減少したが、依然例年よりかなり多い状態が継続している。水痘の定点当たり報告数は緩やかな減少傾向にある。



(注) グラフの横軸は各疾患の定点当たり報告数(報告総数/定点総数)を表す。疾患によって目盛りのスケールが違うことに注意。



注目すべき感染症

麻疹流行状況

2001年は当初より、高知県、奈良県、九州地方(下図参照)などで流行がみられ、過去5年間の同時期と比較して定点当たり報告数がかかなり多い状態が続いている。

2001年第16週(4月16日 ~ 4月22日)の、全国定点医療機関からの麻疹報告患者総数は1,415で、定点当たり報告数は0.47である。2001年第1週からの累積患者数は13,573、性別内訳は男7,409、女6,164とやや男性に多い。累積報告数の年齢階級別では1歳未満1,740(うち6カ月未満161)、1歳2,947、2歳1,453、3歳1,029、4歳891、5~9歳3,109、10~19歳2,147、20歳以上257となっている。1999年4月より施行された「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律(以下感染症法)」に基づく感染症発生動向調査では、小児科定点から報告される麻疹患者は18歳未満の小児であるが、小児科を受診する成人麻疹患者もあり、実際はこれらの症例が小児科定点を通じて報告されている。

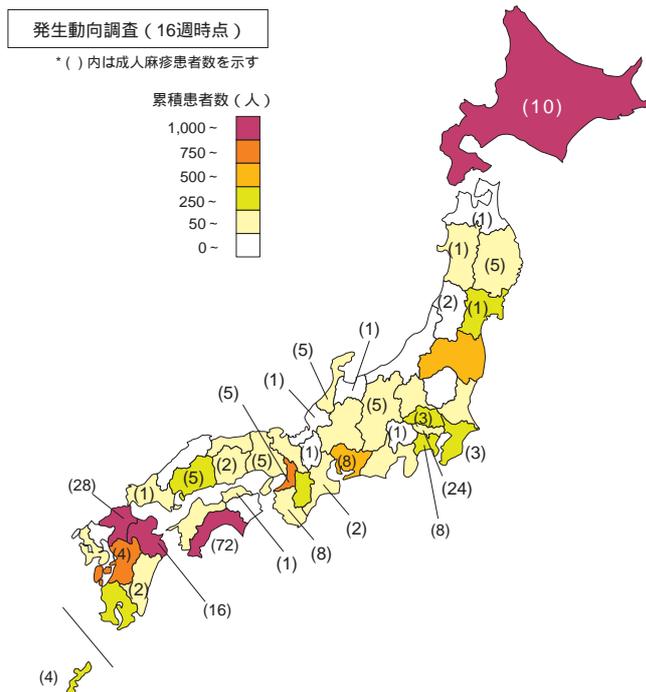
また、上記で報告される麻疹とは別に「成人麻疹(18歳以上)」という項目を設けてサーベイランスを行っているが、これらの症例は基幹病院定点からの報告であり、多くは入院を要するような比較的重症例であると考えられる。2001年第1四半期(第1週 ~ 第13週)の成人麻疹累積報告数は172で、昨年同期の33と比較して5倍以上も多くなっている。とくに感染リスクの高い未感染の医療従事者には、予防接種の徹底が強く推奨される。

麻疹に罹患した場合、肺炎や脳炎による合併症での小児の死亡率は高く、医療状況の良い先進国で0.1~0.5%、途上国では10%前後にのぼる。麻疹の患者発生ピークは4~5月であり、今後の疾患の動向に注意が必要である。

厚生労働省感染症発生動向調査警報・注意報発生システムによれば、麻疹流行警報は福岡県の10保健所、北海道と大阪府の8保健所、熊本県の7保健所、大分県の6保健所など75の保健所で、注意報は神奈川県8保健所、大阪府7保健所、東京都6保健所など95の保健所で発生している。

<麻疹の予防について> (感染症情報センター長 岡部信彦)

麻疹に関しては、まさに予防に勝る治療はない。1歳を過ぎた子どもたちには、なるべく早いうちに定期接種としての麻疹ワクチン接種を行うことが麻疹対策上まず必要である。生後6カ月以降1歳前で感染の可能性がきわめて高い状況にあれば、任意接種として麻疹ワクチン接種が可能であるが、12~15カ月時に再接種を行う必要がある。1歳から7歳半(生後12~90カ月)までは定期接種の範囲内である。この年齢幅で接種をすませている子どもたちには、気がつき次第なるべく早くワクチン接種を済ませよう勧めていただきたい。7歳半を過ぎても、定期接種の年齢枠から外れるということを除けば、年齢を問わず任意接種として医学的には問題なくワクチン接種が可能である。感染歴、ワクチン歴が不明で、麻疹感染の可能性のある大人に対しても、あらかじめワクチンを接種しておくことが勧められる。仮に血清抗体の測定などを行うことなく抗体陽性であった者にワクチン接種を行ったとしても、副反応等安全上の問題は特別なものはない。初回接種と同様の注意で十分である。





病原体情報

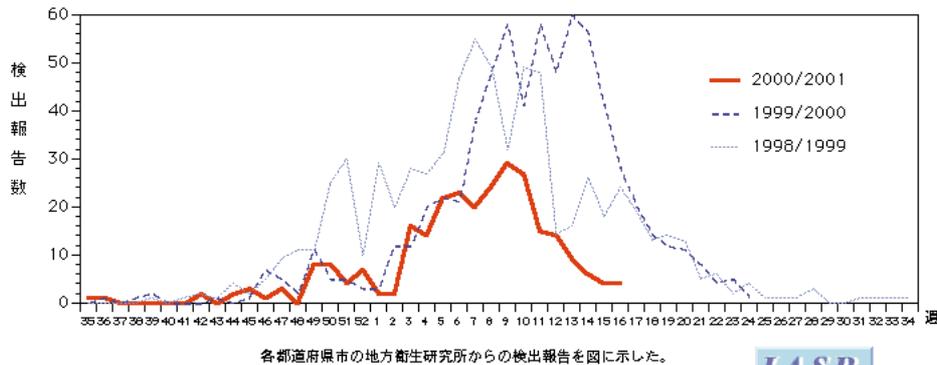
(2001年4月27日現在報告分)

*グラフはIASRホームページ(<http://idsc.nih.go.jp/iasr/index-j.html>)からの引用です。

感染性胃腸炎 2000/2001シーズン ロタウイルスおよびSRSV検出報告

今シーズンのロタウイルスの検出は272件、SRSVの検出は807件報告されている。最近では、ロタウイルスは第15週に栃木県1、福井県1、奈良県1、愛媛県1、第16週に新潟県3、奈良県1、SRSVは第15週に栃木県1が報告されている。SRSVは、過去2シーズンと同様に第50週のピークに加えて、第6週にも滋賀県などからの報告増加により2峰性のピークとなっている。

週別ロタウイルスの検出報告数、過去2シーズンとの比較 (1998/1999、1999/2000、2000/2001)
(病原微生物検出情報: 2001年4月27日現在報告数)

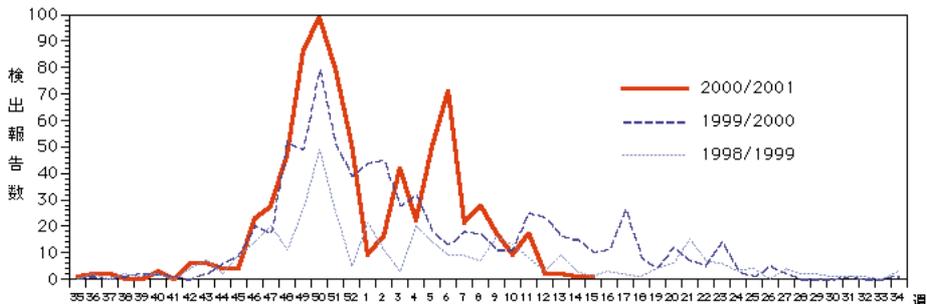


各都道府県市の地方衛生研究所からの検出報告を圖に示した。



Infectious Agents Surveillance Report

週別SRSV検出報告数、過去2シーズンとの比較 (1998/1999、1999/2000、2000/2001)
(病原微生物検出情報: 2001年4月27日現在報告数)



各都道府県市の地方衛生研究所からの検出報告を圖に示した。

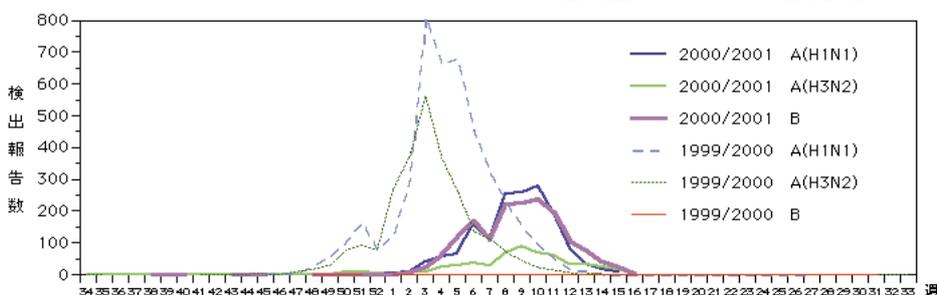


Infectious Agents Surveillance Report

インフルエンザ 2000/2001シーズン

今シーズンの分離ウイルスは、A/ソ連(H1N1)型が1,575件、A/香港(H3N2)型が561件、B型が1,632件報告されている。昨シーズンはA/ソ連(H1N1)型とA/香港(H3N2)型がともに第3週をピークとして分離されたが、今シーズンの各型のピークはこれより大きく遅れている。最近では、A/ソ連(H1N1)型が第15週に9(7都県市)、A/香港(H3N2)型が第15週に16(8県市)、第16週に1(奈良県)、B型が第15週に23(13都県市)、第16週に6(青森県、福岡市)が報告されている。

週別型別インフルエンザウイルス分離・検出報告数の推移、2000/2001シーズン
(病原微生物検出情報: 2001年4月27日現在報告数)



各都道府県市の地方衛生研究所からの分離報告を圖に示した。



Infectious Agents Surveillance Report



日本のAIDS患者・HIV感染者の状況(平成13年1月1日～3月25日)

厚生労働省健康局疾病対策課
平成13年4月24日

エイズ動向委員会柳川委員長コメント(要旨)

- 今回の報告期間は平成13年1月1日～3月25日までの約3カ月であり、患者数は法定報告62件(前回39件)任意報告1件(前回3件)感染者数は129件(前回87件)である。
* 前回は平成12年10月30日～12月31日までの約2カ月)
- 今回の報告では、感染経路別に見ると、HIV感染者においては同性間性的接触によるものが72件、AIDS患者においては異性間性的接触によるものが27件と、それぞれ最も多く、これは前回と同様の傾向と言える。
年齢別では前回同様、患者・感染者ともに各年齢層に分布しているものの、感染者では20～30代、患者では30代以上が占める割合が高い。
- 今回から四半期ごとに保健所におけるHIV抗体検査・相談受付実施件数を集計する。平成13年第1四半期における検査件数は11,488件、相談件数は25,406件であり、今後の四半期ごとの推移に注目していきたい(平成12年1年間における検査件数は48,620件、相談件数は107,256件)

日本のHIV感染者およびAIDS患者の国籍別、性別、感染経路別報告数の累計(平成13年3月25日現在)

法定報告分

1. HIV感染者の届出状況

(単位:件)

	男性	女性	合計
異性間の性的接触	950 (173)	852 (567)	1,802 (740)
同性間の性的接触*	1,191 (117)	-(-)	1,191 (117)
静注薬物濫用	23 (15)	1 (1)	24 (16)
母子感染	12 (2)	13 (7)	25 (9)
その他**	45 (13)	31 (9)	76 (22)
不明	431 (191)	461 (432)	892 (623)
小計	2,652 (511)	1,358 (1,016)	4,010 (1,527)
凝固因子製剤***	1,415 (...)	17 (...)	1,432 (...)
感染者合計	4,067 (511)	1,375 (1,016)	5,442 (1,527)

2. AIDS患者の届出状況

(単位:件)

	男性	女性	合計
異性間の性的接触	747 (123)	159 (90)	906 (213)
同性間の性的接触*	449 (49)	-(-)	449 (49)
静注薬物濫用	15 (10)	-(-)	15 (10)
母子感染	9 (1)	5 (2)	14 (3)
その他**	29 (8)	16 (7)	45 (15)
不明	431 (157)	102 (74)	533 (231)
小計	1,680 (348)	282 (173)	1,962 (521)
凝固因子製剤***	634 (...)	8 (...)	642 (...)
患者合計	2,314 (348)	290 (173)	2,604 (521)

()内は外国人再掲数

* 両性間性的接触を含む

** 輸血などに伴う感染例や推定される感染経路が複数ある例を含む

*** 凝固因子製剤による感染者数は、1998年5月末現在における「HIV感染者発症予防・治療に関する研究班」からの最終報告数である。

()内は外国人再掲数

3. 累積死亡者数 1,214名(平成13年3月31日現在)

上記死亡者数には「HIV感染者発症予防・治療に関する研究班」からの累積死亡報告数502名が含まれる

(IASR2001年5月号掲載予定記事より抜粋、詳細は同号参照)



海外感染症情報

W135群髄膜炎菌感染症 - 2001年の流行状況

WHO/CSR 2001年4月27日

2000年に、それ以前には流行がまれであったW135群髄膜炎菌感染症の世界的な流行が起きた。

2001年には、下記の国々がW135群髄膜炎菌感染症の症例をWHOに報告したが、これらはサウジアラビアへの旅行や同国への旅行者との接触に関連したものであった。

ブルキナファソ: 4例が報告され、W135群髄膜炎菌が検査で確認されている。

中央アフリカ共和国: Haj巡礼者に3例が報告され、W135群髄膜炎菌が検査で確認されている。

フランス: 2例(haj巡礼者との濃厚接触者)が報告されているが、死者は出ていない。W135群髄膜炎菌が検査で確認されている。

ノルウェー: 4例(haj巡礼者との接触者2例)が報告されているが、死者は出ていない。W135群髄膜炎菌が検査で確認されている。

サウジアラビア: 2001年2月9日から3月22日の間に、死者35例を含む109例(主にサウジアラビア国外からのhaj巡礼者)が報告されている。症例の半数以上にW135群髄膜炎菌が検査で確認されている。

シンガポール: 4例(3例がhaj巡礼者との濃厚接触者、1例はサウジアラビアへの渡航歴あり)が報告されているが、死者は出ていない。2例はサウジアラビアの巡礼期間前の2001年1月に発生した。W135群髄膜炎菌が検査で確認されている。

英国: 死者7例を含む28例が報告されている。これらの症例のうち、8例がhaj巡礼者で、9例が巡礼者との濃厚接触者で、残りの症例は詳細不明である。2例がhaj期間前の2001年1月に発生した。W135群髄膜炎菌が検査で確認されている。

WHOは、患者と寝食を共にしたような濃厚接触者には予防内服を行うよう勧告している。多くの国ではリファンピシンが推奨されている。

来年のUmrah(小巡礼)およびhajシーズンの対策としてサウジアラビア保健省は、Umrahおよびhajに来る人に4価の髄膜炎菌ワクチン(A型、C型、Y型およびW135型)接種を要求する、と巡礼者を送り出す国の保健省に通知した。

アフリカ髄膜炎ベルトにおける髄膜炎菌感染症 - 更新

WHO/CSR 2001年4月23日

ブルキナファソ: 2001年1月1日から4月15日の間に、1,525例の死者を含む10,897例の患者が報告された。

ベニン: 2001年1月1日から3月25日までの間に、Borgou, Atacora, Donga及びAliboliの4地区で300例の死者を含む7,532例の患者が報告された。

中央アフリカ共和国: 同国全土において、2001年2月18日から3月30日までの間に、343例の死者を含む1,816例の患者が報告された。流行の深刻な県はOuhan Pendeである。

チャド: 2000年12月25日から2001年3月25日までの間に、607例の死者を含む5,780例の患者が報告された。

エチオピア: 同国のほぼ全土から3月31日までに、242例の死者を含む4,138例の患者が報告された。

ニジェール: 2001年1月2日から4月8日までの間に、Dosso地域内のGay, Boboye, Douchi地区とTahoua地域内のMadoua地区において、321例の死者を含む4,014例の患者が報告された。



感染症の話

B型肝炎

B型肝炎の原因ウイルスであるB型肝炎ウイルス(HBV)は、1963年Blumbergらによるオーストラリア抗原の発見が契機となり、当初は免疫血清学的手法を用いて研究されてきた。1970年にHBVの本態であるDane粒子が同定され、さらに1979年ウイルス粒子から、そこに含まれるウイルスゲノムがクローニングされるにいたり、HBVは一躍分子生物学の研究対象となり、HBV及びB型肝炎に関する知見は飛躍的に進展した。

疫学

1972年にHBs抗原検査が導入されて以来、輸血後B型肝炎は減少の一途を辿っているが、1995年～1996年、日赤血液センターでの初回献血者集団においてHBs抗原陽性率を求めた結果から、30歳未満では陽性率1%以下であるものの、40歳代では約1.5%と依然として高い値を示すことがわかっている。また、低年齢層における陽性率は、母子感染防止事業が開始された1986年以降年々減少し、1997年の調査では0.05%と報告されている。HBVの持続感染は乳幼児期の感染によって成立し、成人期初感染によるものはまれである。持続感染後、大部分は肝機能正常なキャリアーとして経過し、その後、免疫能が発達するに従い顕性または不顕性の肝炎を発症する。そのうち90%はseroconversionを起こし、最終的に肝機能正常の無症候性キャリアーへ移行し、残り10%が慢性肝炎へ移行し肝機能異常を持続する。HBV抗原持続陽性の慢性活動性肝炎は1～10年の経過で肝硬変に至り、また、肝硬変ないし慢性肝炎進展例からは高率に肝細胞癌を発症することが知られている。(関連記事として、病原微生物検出情報(IASR)Vol.21, No.4(No.242) 「 <特集> 急性ウイルス性肝炎 1999.4～12 」を参照のこと)

病原体

HBVはDNA型の肝炎ウイルスでヘパドナウイルス科に分類される。直径約42nmの球状ウイルスで外被(エンベロープ)とコアの二重構造を有している。表面を被うエンベロープ蛋白がHBs抗原、その内側のコア蛋白がHBc抗原と呼ばれる。コアの中には、不完全二本鎖のHBV DNAやHBV関連DNAポリメラーゼが存在している。HBV DNAは約3,200塩基からなり、HBs抗原、HBc抗原、X蛋白質、DNAポリメラーゼがコードされている。HBVは、HBs抗原のエピトープの違いによって4つのサブタイプ(adr, adw, ayw, ayr)に分けられている。

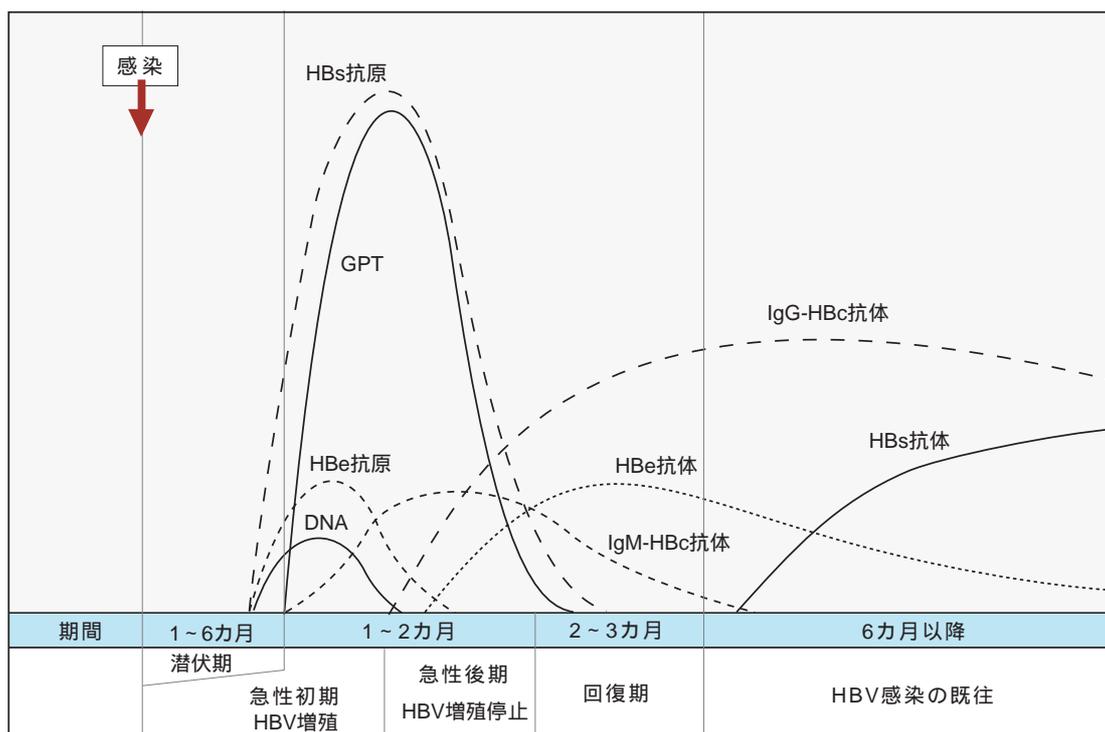
臨床症状

B型急性肝炎では、発熱、食欲不振、全身倦怠感、悪心・嘔吐、右季肋部痛、上腹部膨満感、濃色尿などの症状がみられ、引き続き黄疸が認められるようになる。宿主の免疫能に異常がなければ、以上の過程でHBVは生体から排除されキャリア化することはない。しかし、免疫機能の不十分な乳幼児の場合、宿主の免疫能が低下した病態、免疫抑制剤の投与を受けている場合、などの感染においてキャリア化へ移行する例が存在する。B型急性肝炎患者のうち約1%が劇症化へ進展すると言われている。B型急性肝炎の劇症化の機序は明らかでないが、HBs抗原/HBs抗体複合体によるArthus現象によって広範囲の肝細胞壊死を惹起することが考えられている。

病原診断

B型肝炎のウイルス診断として、HBs抗原・抗体、HBc抗体、HBe抗原・抗体、HBV DNA検査、及びHBV DNAポリメラーゼ活性の測定が行われている。図1にB型急性肝炎における各種ウイルスマーカーの経過を示す。HBVの感染状態ではHBs抗原が持続的に産生されており、HBs抗原が陽性であればB型肝炎と診断しうる。HBs抗体はHBVに対する中和抗体と考えられており、HBs抗原が経過とともに減少、消失し、HBs抗体が出現してくる。しかし、まれにHBs抗原の抗原決定領域に変異があるために、HBs抗原が検出されないことがある。また、HBVによる劇症肝炎の場合も、病院に運ばれた時点では既にHBsAgが消失していることがある。診断の際にはIgG-HBc・IgM-HBc抗体価をあわせて測定することが望ましい。すなわち、HBs抗原陰性でもIgM-HBc抗体が高力価であればHBVキャリアを疑い、HBV DNAの検出などを更に実施する。IgG-HBc抗体はIgM抗体に遅れて出現する。HBc抗体は中和抗体でなく、IgG-HBc抗体陽性の場合、現在HBVに感染している場合と既に治癒している場合の両方の可能性がある。可溶性蛋白であるHBe抗原はHBV増殖時に産生される。一般にHBe抗原陽性の場合、肝内でのウイルス増殖が盛んで血中にウイルスが多量に存在し、感染性も強いと考えられる。一方、HBV遺伝子のコアプロモーター領域やプレコア領域の変異によってHBe抗原を産生しないウイルスの存在が明らかになっており、B型劇症肝炎例でこのような変異HBVが多く観察されることが報告されている。より詳細な病原体診断には、高感度な遺伝子検査法によるHBV DNAの定量および塩基配列の解析が必要である。

図1. B型急性肝炎におけるウイルスマーカーの変動



(Medical Practice 13: 1367-1371, 1996)

治療・予防

B型急性肝炎は本来、自然治癒する傾向が強い疾患である。治療上最も大切な点は、極期を過ぎたか否かを見極めることであり、劇症化への移行の可能性に留意しながら対処することが重要である。特に、肝予備能を反映するプロトロンビン時間、ヘパラスチンテストなど凝固系検査は明らかな改善傾向を示すまで測定し、また、腹部エコー、CT検査により肝萎縮の程度を把握する。B型急性肝炎の生命予後は、重症化、劇症化しなければきわめて良好である。劇症化した場合には、血漿交換、人工肝補助療法、生体肝移植などの治療が必要となる。

HBV感染の予防は感染経路を遮断することであり、輸血用血液および血液製剤のウイルス検査、またワクチン接種が有効である。B型肝炎ワクチンは我が国では1985年に認可され、翌年からは母子感染防止事業にグロブリン製剤との併用で用いられ、大きな成果をあげている。また、医療従事者などのハイリスクグループにおいても、予防接種が感染防止に有効である。第一世代のワクチンは、HBVキャリアの血漿より精製されたHBs抗原を用いたものであるが、その後、組換えDNA技術を応用してHBs遺伝子を酵母や動物細胞で発現させ製造した第二世代、さらにプレS蛋白をHBs抗原に付加させたワクチンも認可されている。

発生動向調査について

急性ウイルス性肝炎は感染症法において4類感染症に分類されており、診断した医師は7日以内に最寄りの保健所に届けることとなっている。慢性肝炎、HBVキャリアについては届け出の対象にならない。なお報告の基準は以下の通りである。

診断した医師の判断により、症状や所見から当該疾患が疑われ、かつ以下のいずれかの方法によって病原体診断や血清学的診断がなされたもの

- (1) 病原体抗原の検出
例: 血清からのHBs抗原の検出
- (2) 病原体遺伝子の検出
例: PCR法など
- (3) 病原体に対する抗体の検出
例: 血清中のIgM-HBc抗体の検出

上記のB型急性肝炎の報告のための基準を満たすもので、かつ劇症肝炎となったものについては、報告書の「症状」欄にその旨記載する。なお、劇症肝炎については以下の基準を用いる。

- ・ 肝炎のうち、症状発現後8週以内に高度の肝機能障害に基づいて肝性昏睡II度以上の脳症をきたし、プロトロンビン時間40%以下を示すもの。発病後10日以内の脳症の出現は急性型、それ以降の出現は亜急性型とする。

(国立感染症研究所ウイルス第二部 鈴木哲朗)



読者のコーナー

Q: 成人麻疹について教えてください。成人麻疹は何歳以上の者が麻疹を発症すると成人麻疹という対象となるのでしょうか?

成人麻疹について

「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律(感染症法)」において、「麻疹(成人麻疹を除く)」は4類感染症の定点把握対象疾患になっており(つまり、麻疹に罹患した全患者数を把握しているわけではありません。これは成人麻疹についても同じです。) 同法に基づく感染症発生動向調査では、全国約3,000の小児科定点から報告されます。「麻疹(成人麻疹を除く)」は()内に明記されているように、成人麻疹患者を除く18歳未満の小児を対象としています。

感染症発生動向調査では、上記で報告される「麻疹(成人麻疹を除く)」とは別に「成人麻疹」(18歳以上)という項目を設けてサーベイランスを行っています。これらの症例は全国約500の基幹病院定点からの報告であり、多くは入院を要するような比較的重症例であると考えられます。(麻疹の流行状況については、4ページ「注目すべき感染症」を参照して下さい。)

(国立感染症研究所感染症情報センター)

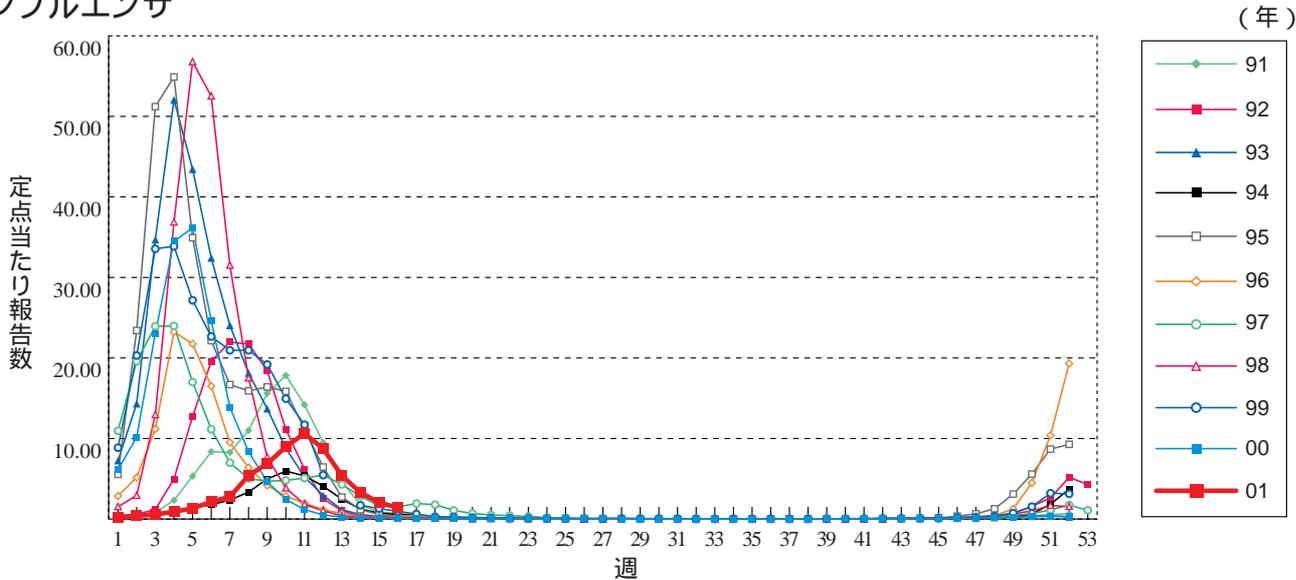
「読者のコーナー」では読者のみなさまからのご意見・ご質問をお待ちしております。
ご意見・ご質問は、題名(タイトル)の一番はじめにidwr-QをつけてこちらまでEメールでどうぞ。

idsc-query@nih.go.jp

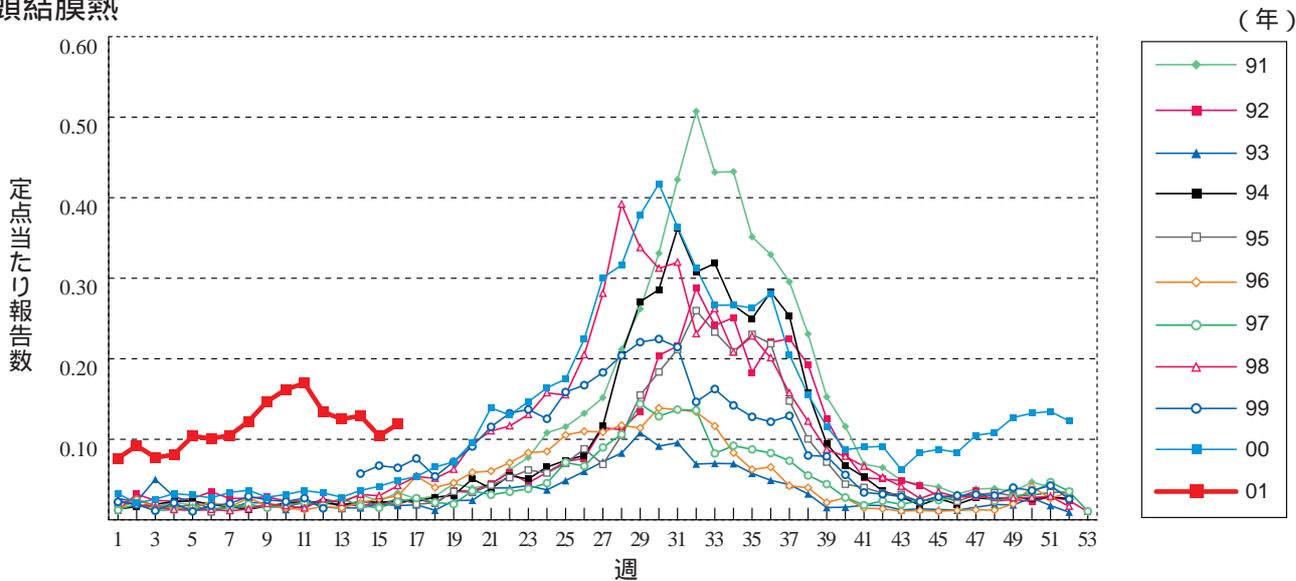


グラフ総覧(16週)

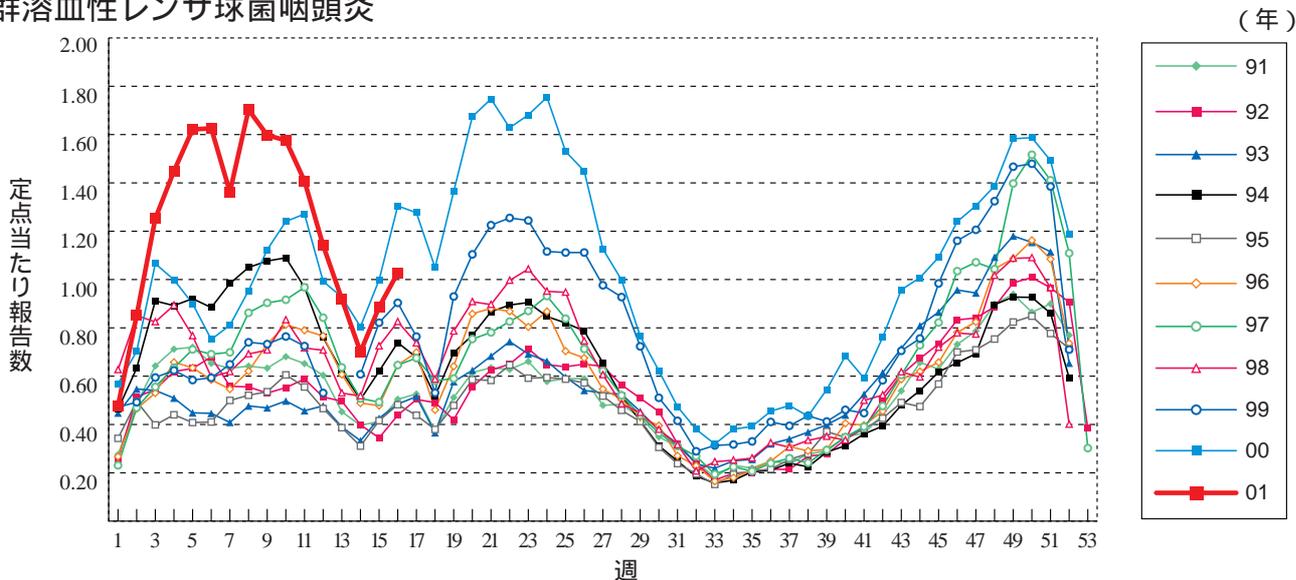
インフルエンザ



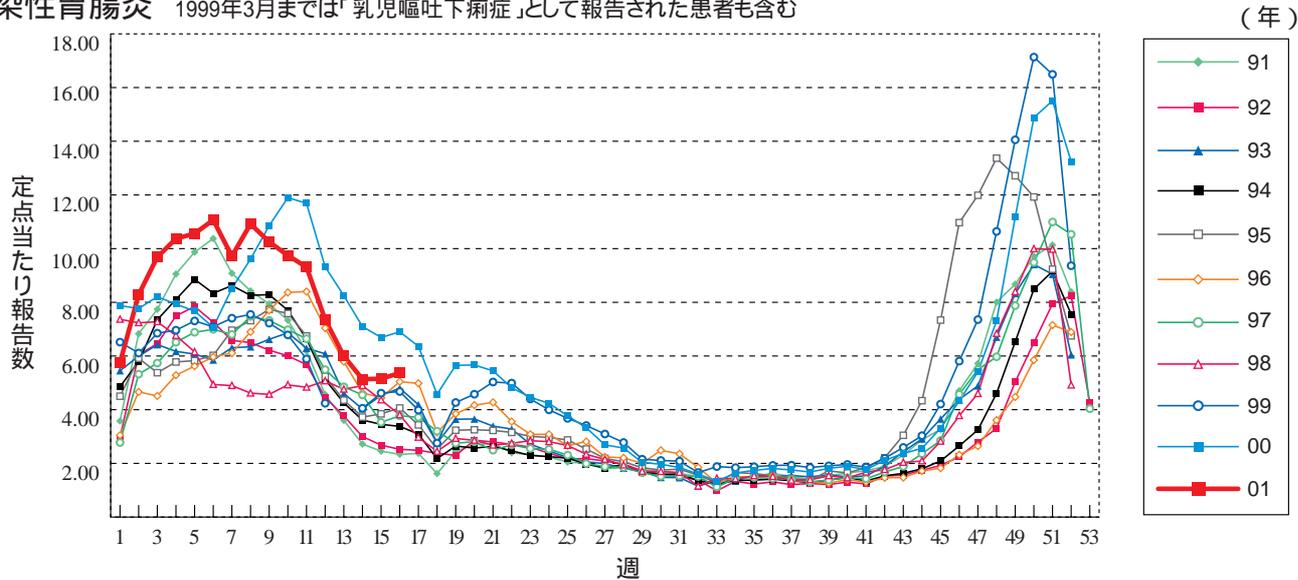
咽頭結膜熱



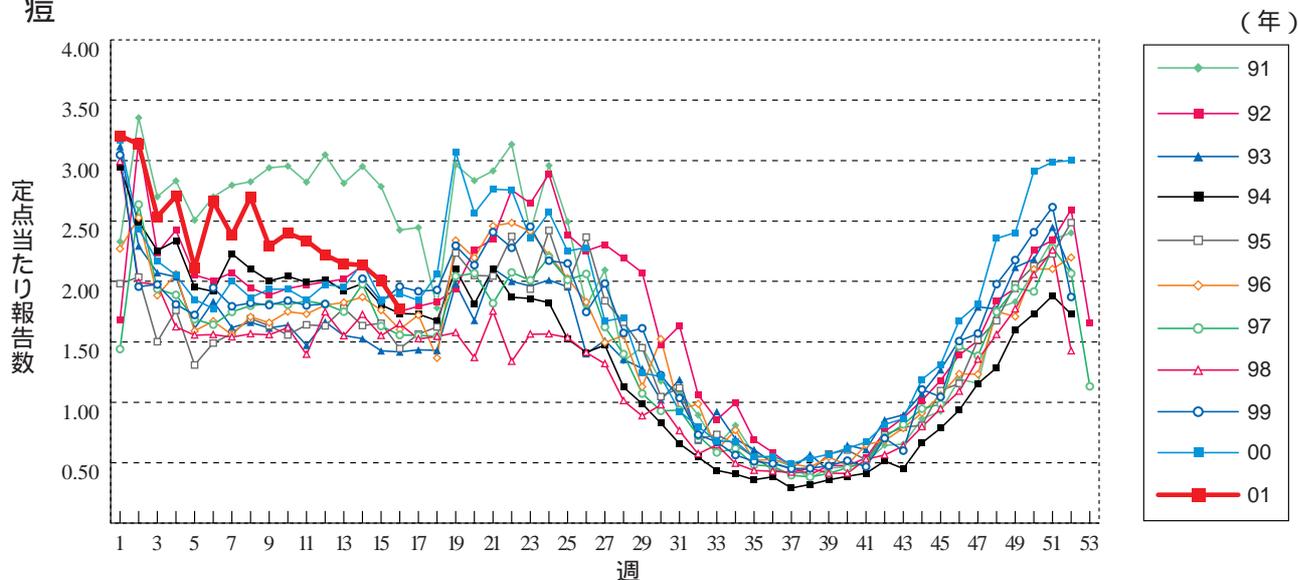
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



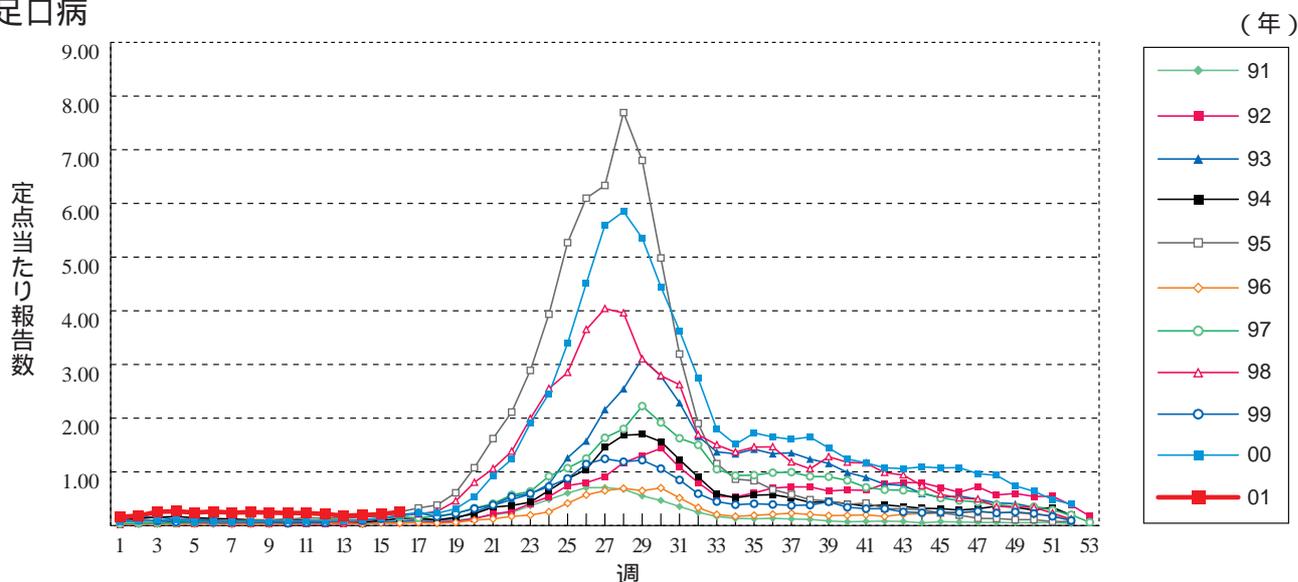
感染性胃腸炎 1999年3月までは「乳児嘔吐下痢症」として報告された患者も含む



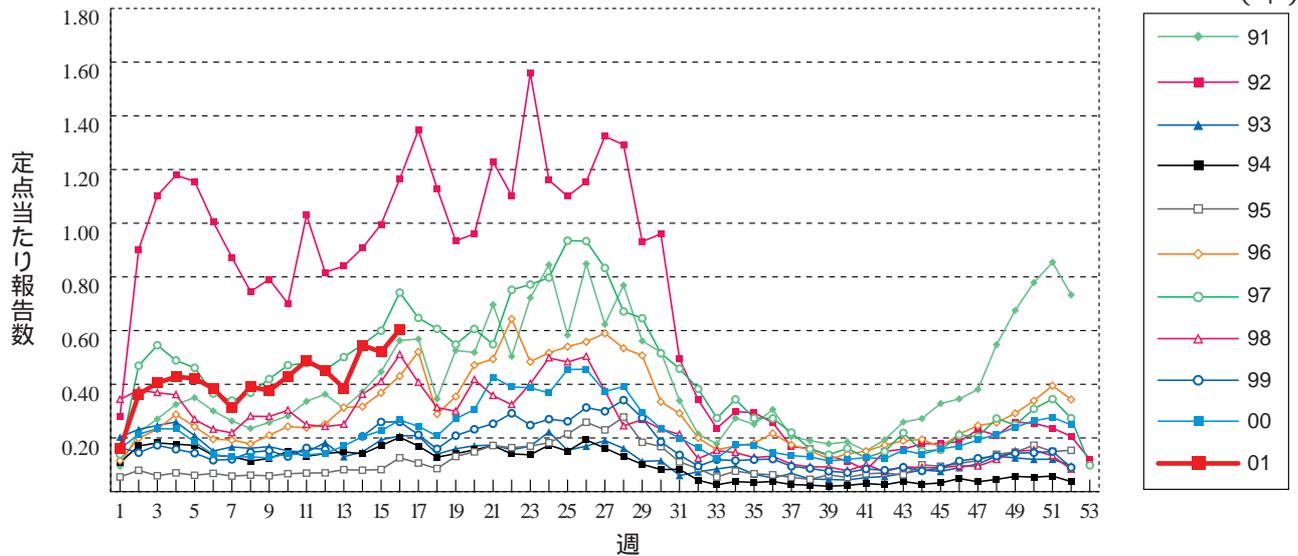
水痘



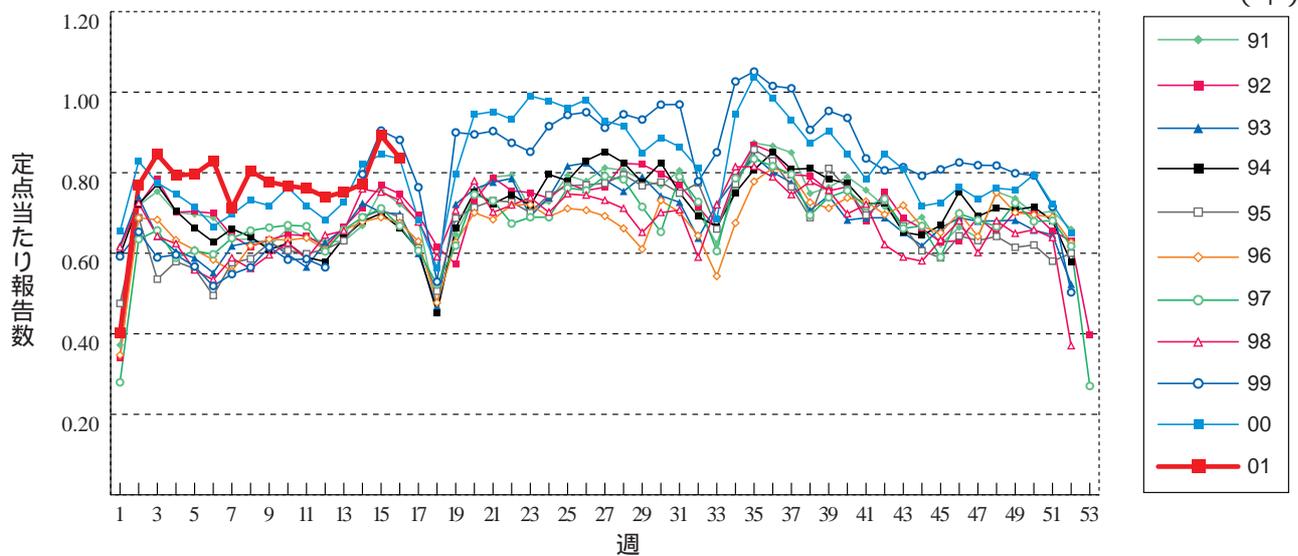
手足口病



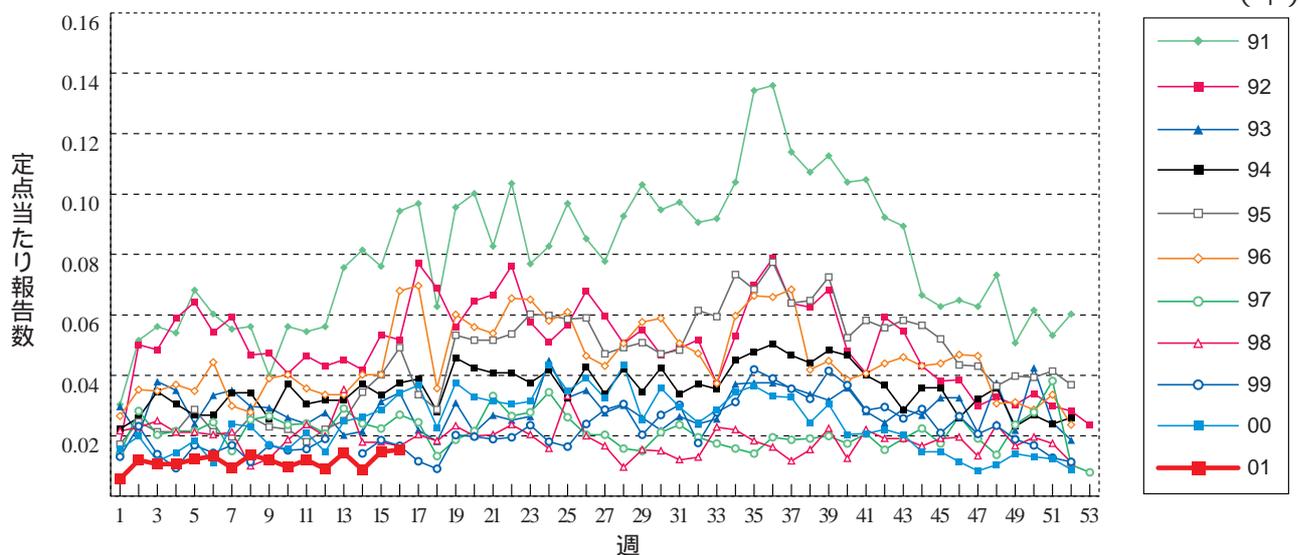
伝染性紅斑



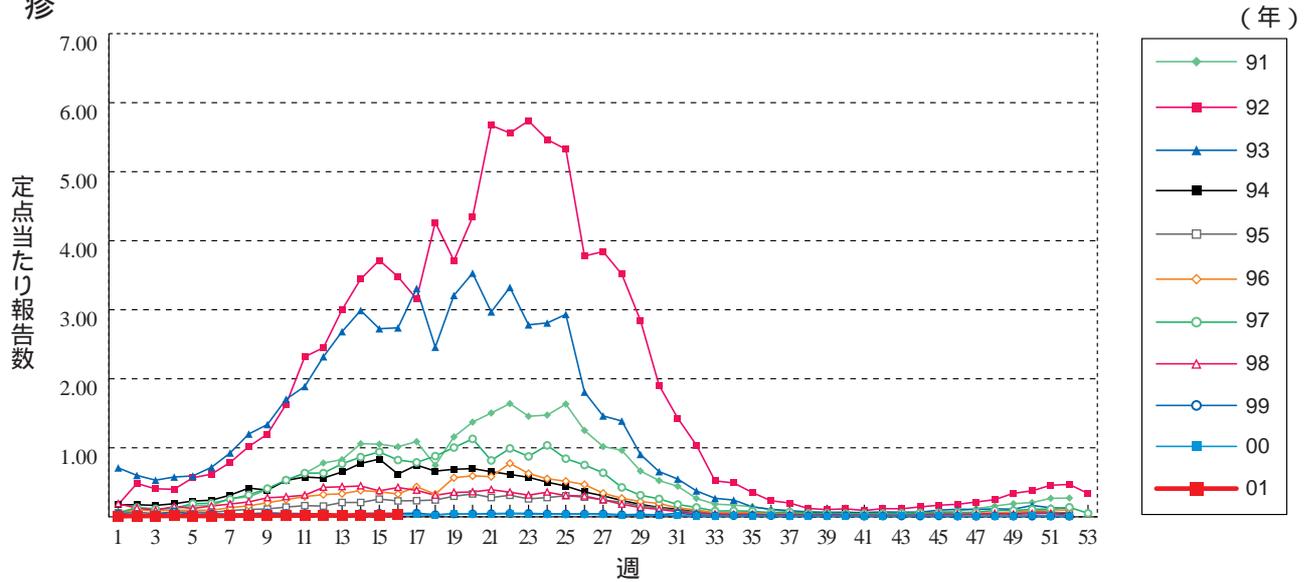
突発性発疹



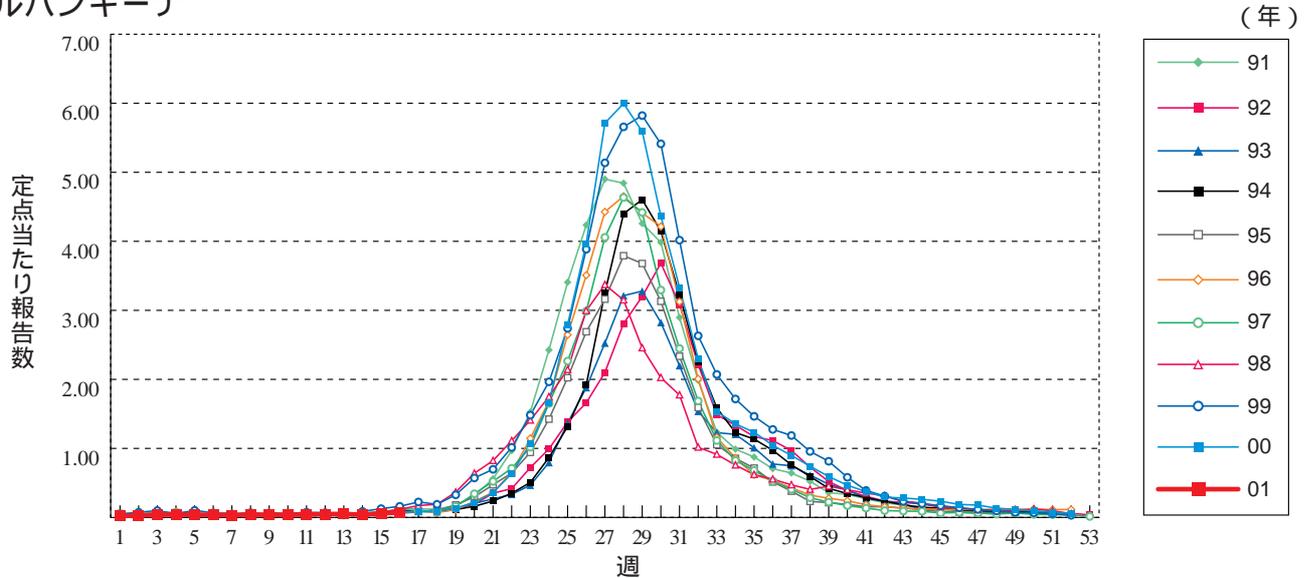
百日咳



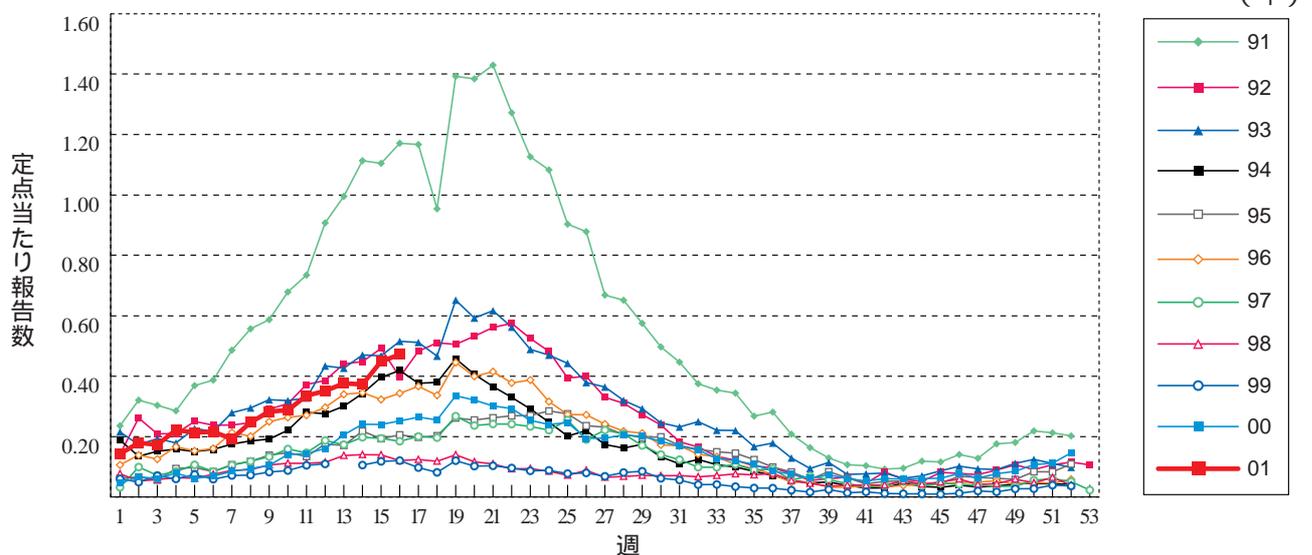
風 疹



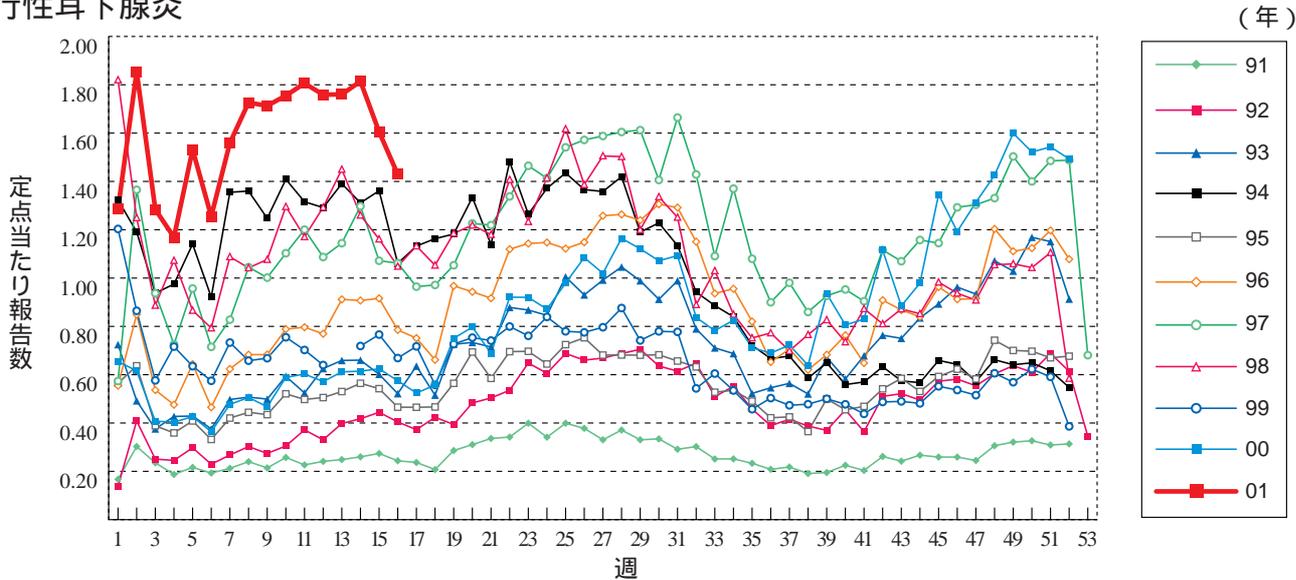
ヘルパンギーナ



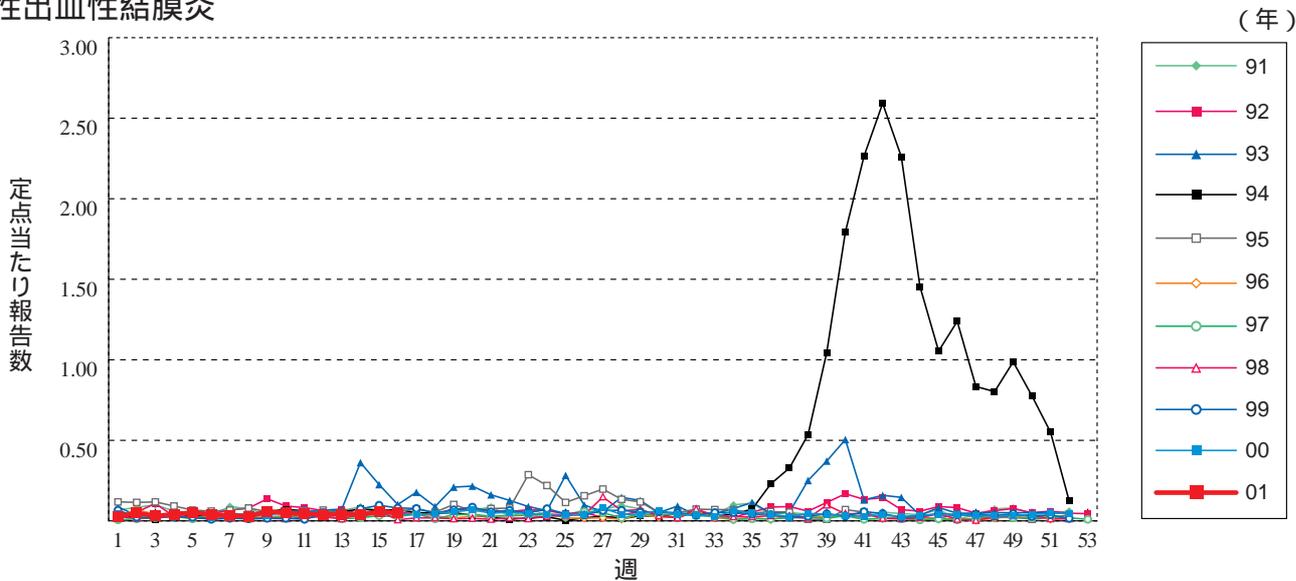
麻 疹 (成人麻疹を除く) 1999年の12週以前は成人麻疹を含む



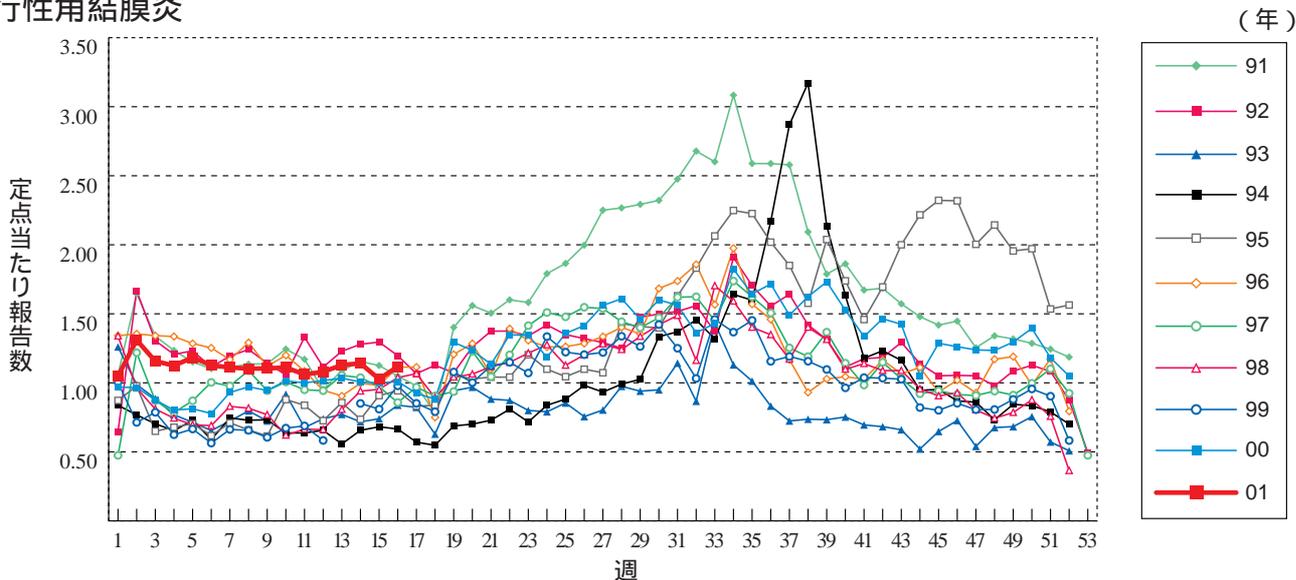
流行性耳下腺炎



急性出血性結膜炎

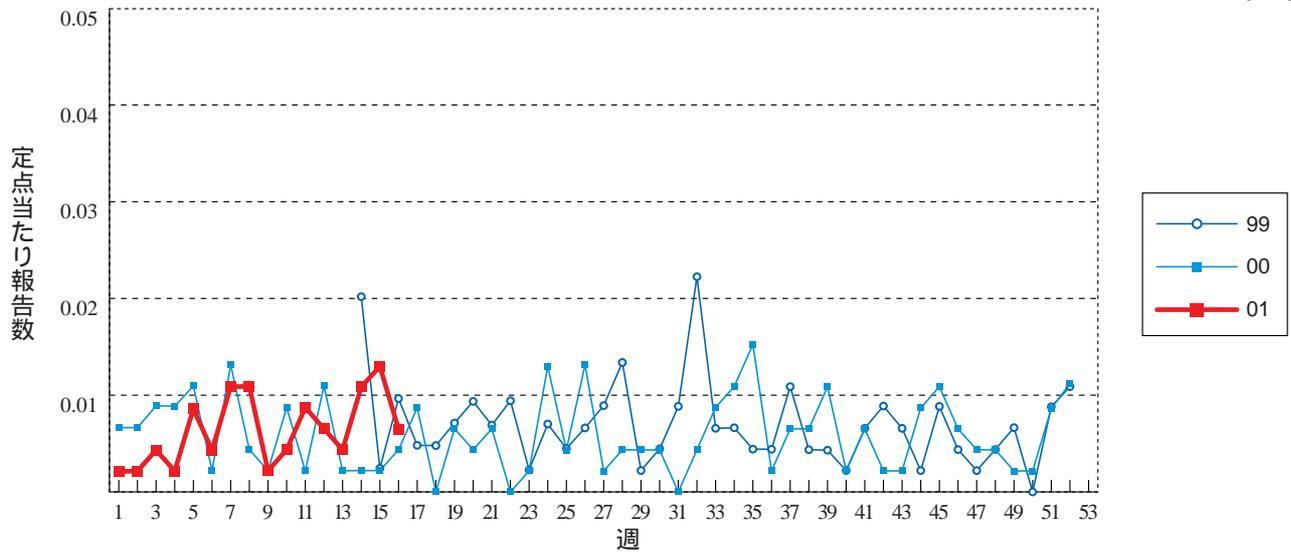


流行性角結膜炎



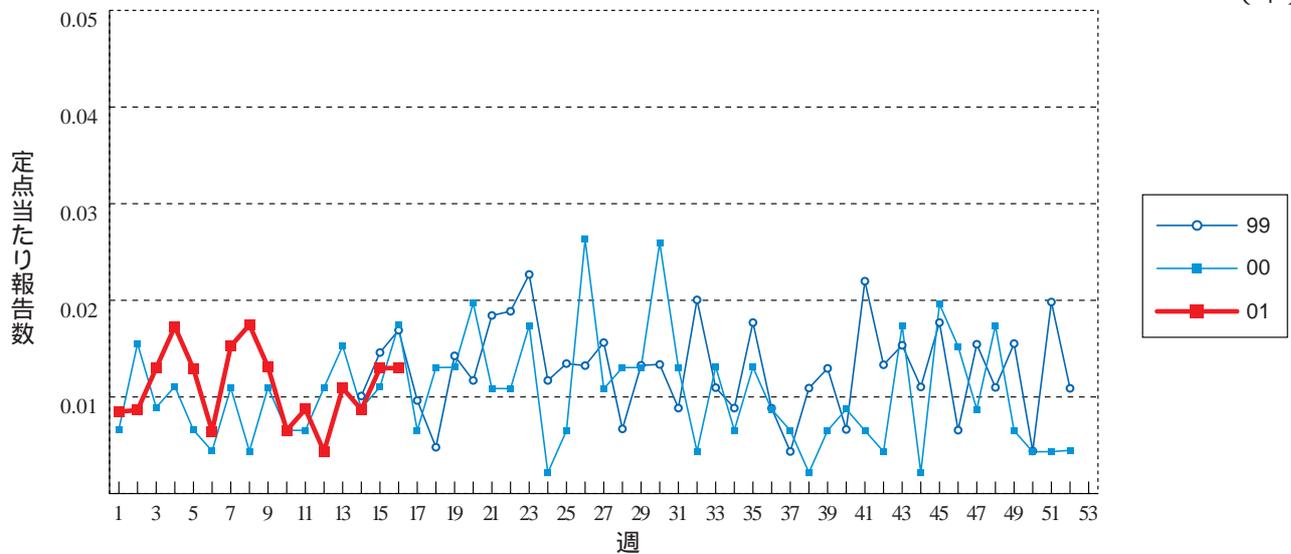
急性脳炎 (日本脳炎を除く)

(年)



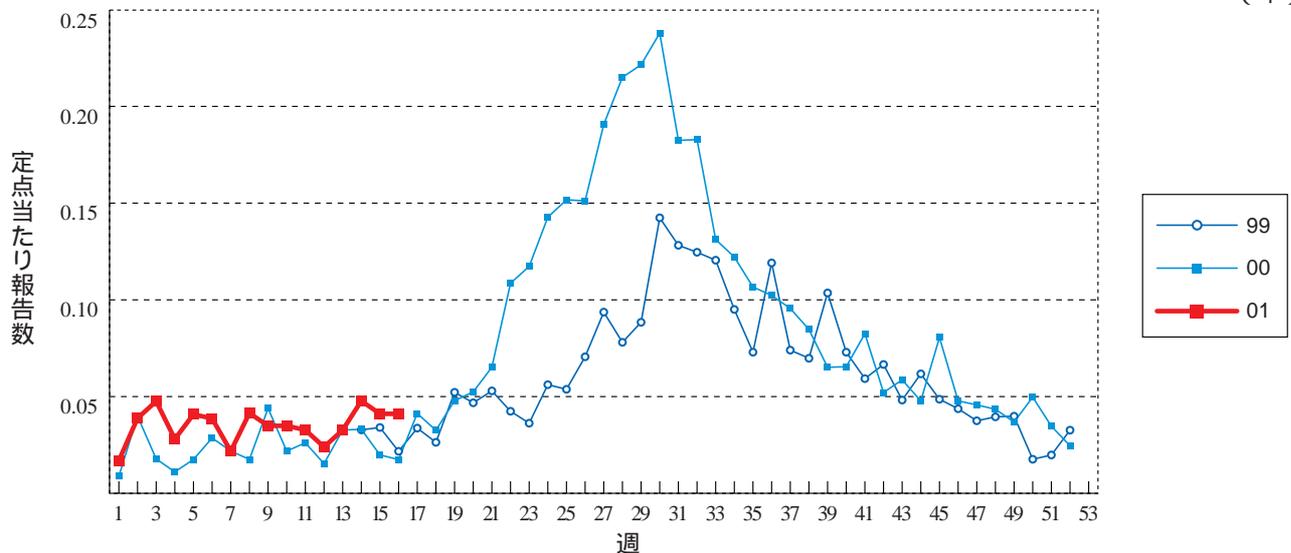
細菌性髄膜炎

(年)



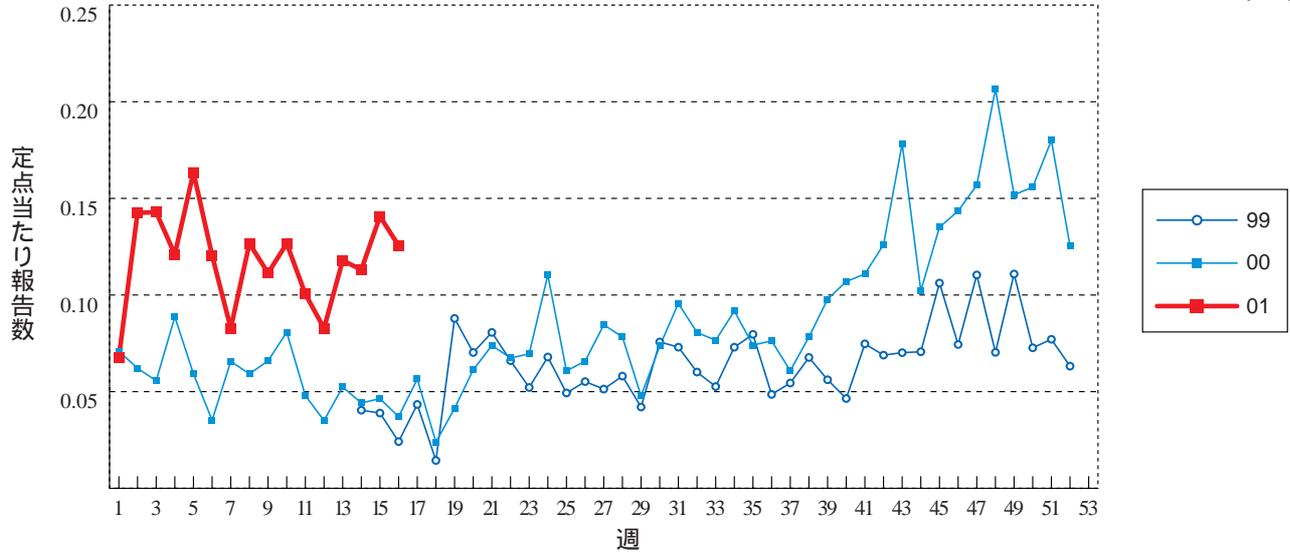
無菌性髄膜炎

(年)



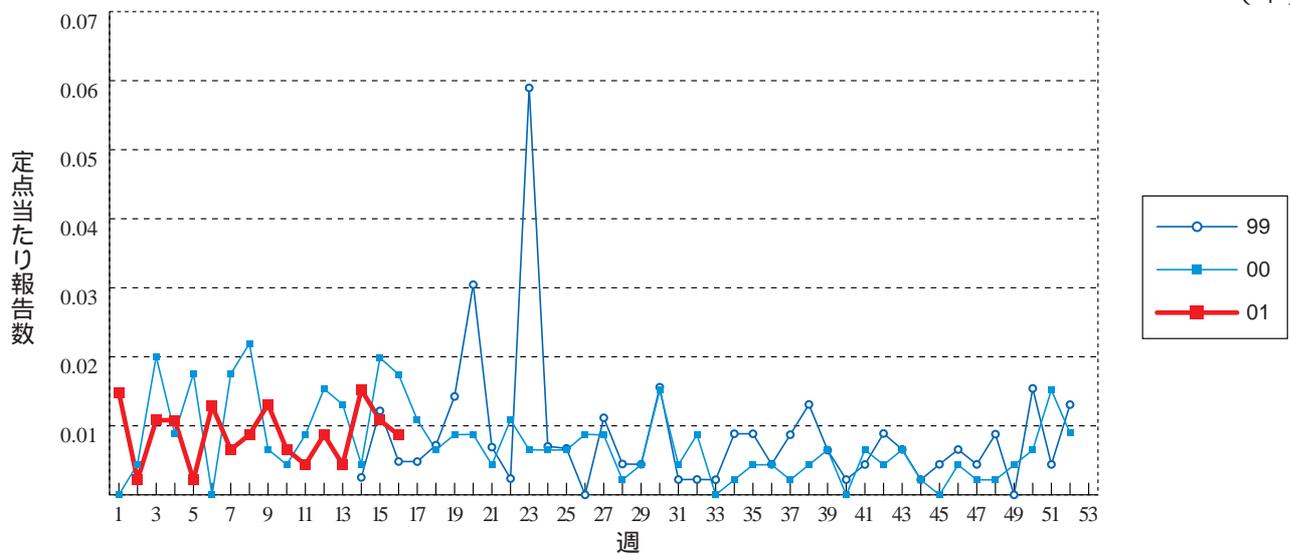
マイコプラズマ肺炎

(年)



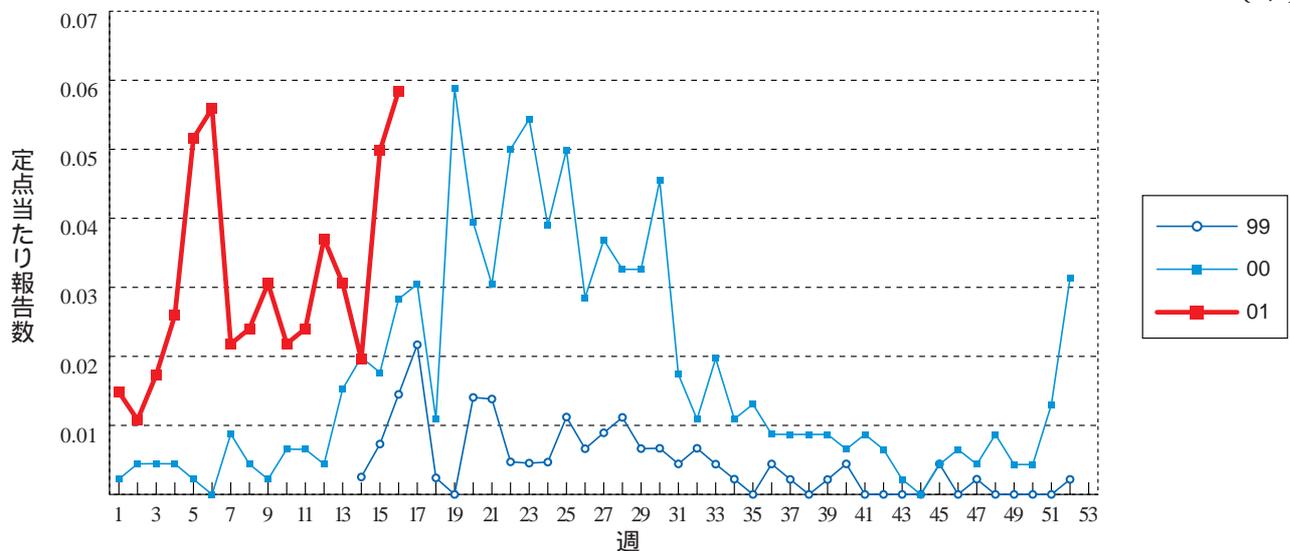
クラミジア肺炎 (オウム病を除く)

(年)



成人麻疹

(年)





16週のデータ

注)表中の報告数は4月26日集計分であり、その後の報告数は次週以降の累計に反映されます。

第3101表 報告数・累積報告数，疾病・都道府県別

平成13年16週

	エボラ出血熱		クリミア・コンゴ出血熱		ペスト		マールブルグ病		ラッサ熱		コレラ		細菌性赤痢		腸チフス		バラチフス	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12	9	205	3	14	-	3	
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	1	1	-	-	
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1	-	-	
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	1	1	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	11	-	-	-	-	
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	-	1	-	-	
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	2	37	1	2	-	2	
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	17	-	-	-	1	
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	8	-	-	-	-	
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	7	-	-	-	
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	1	11	-	2	-	-	
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	3	-	-	-	-	
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	-	-	-	-	
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	18	-	4	-	-	
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	12	-	-	-	
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	4	-	-	-	-	
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	4	-	-	-	
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	12	-	1	-	-	
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3	-	-	-	
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

第3101表 報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成13年16週

	急性灰白髄炎		ジフテリア		腸管出血性大腸菌感染症		アメーバ赤痢		エキノコックス症		黄熱		オウム病		回歸熱		ウイルス性肝炎	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	-	-	37	476	4	114	-	1	-	-	1	10	-	-	13	195
北海道	-	-	-	-	-	7	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	4
青森県	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
宮城県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9
秋田県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
茨城県	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
栃木県	-	-	-	-	-	3	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
群馬県	-	-	-	-	-	8	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	1	7
埼玉県	-	-	-	-	2	35	-	6	-	-	-	-	-	1	-	-	-	5
千葉県	-	-	-	-	3	133	-	5	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2
東京都	-	-	-	-	2	30	1	34	-	-	-	-	-	4	-	-	3	27
神奈川県	-	-	-	-	6	38	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	1	7
新潟県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
富山県	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
石川県	-	-	-	-	1	4	-	1	-	-	-	-	1	1	-	-	-	2
福井県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
長野県	-	-	-	-	1	2	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
岐阜県	-	-	-	-	1	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	16
静岡県	-	-	-	-	3	11	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
愛知県	-	-	-	-	2	20	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	1	8
三重県	-	-	-	-	-	4	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
滋賀県	-	-	-	-	-	7	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	18	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
大阪府	-	-	-	-	8	51	1	21	-	-	-	-	-	1	-	-	3	19
兵庫県	-	-	-	-	-	12	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	2	19
奈良県	-	-	-	-	1	7	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
鳥取県	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
島根県	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8
広島県	-	-	-	-	1	16	-	2	-	-	-	-	-	1	-	-	-	8
山口県	-	-	-	-	2	6	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
徳島県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
愛媛県	-	-	-	-	-	4	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
高知県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2
福岡県	-	-	-	-	-	14	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	2	6
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	2	9	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
熊本県	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
大分県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
鹿児島県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
沖縄県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

第3101表 報告数・累積報告数，疾病・都道府県別

平成13年16週

	Q 熱		狂 犬 病		クリプトスボルジウム症		クロイツフェルト・ヤコブ病		劇症型溶血性レンサ球菌感染症		後天性免疫不全症候群		コクシジ オイデス症		ジアルジア症		腎症候性出血熱	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	1	7	-	-	-	3	-	30	-	14	8	244	-	1	-	42	-	-
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	3	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	6	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	3	-	-	-	2	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	14	-	-	-	1	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	2	-	2	-	1	3	110	-	-	-	24	-	-
神奈川県	-	1	-	-	-	1	-	2	-	-	2	28	-	-	-	4	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	3	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	1	1	-	-	-	-	2	-	1	-	9	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	5	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	4	-	-	-	4	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	3	-	1	-	14	-	-	-	4	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	3	-	1	-	5	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	3	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-

第3101表 報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成13年16週

	髄膜炎菌性髄膜炎		先天性風疹症候群		炭疽		ツツガムシ病		デング熱		日本紅斑熱		日本脳炎		乳児ポツリヌス症		梅毒	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	3	-	-	-	-	3	52	-	8	-	-	-	-	-	-	2	152
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
秋田県	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
山形県	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1	3
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	1	8
東京都	-	1	-	-	-	-	-	2	-	5	-	-	-	-	-	-	-	30
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	4
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
愛知県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	23
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	2
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
大分県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	1	20	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2

第3101表 報告数・累積報告数，疾病・都道府県別

平成13年16週

	破傷風		バンコマイシン耐性腸球菌感染症		ハンタウイルス肺症候群		Bウイルス病		ブルセラ症		発疹チフス		マラリア		ライム病		レジオネラ症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	10	1	13	-	-	-	-	-	-	-	-	2	28	-	-	-	23
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	3
栃木県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
東京都	-	1	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	-	-	-	3
神奈川県	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	1
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
大阪府	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3	-	-	1
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1

第3102表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

平成13年16週

	インフルエンザ		咽頭結膜熱		A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘		手足口病		伝染性紅斑		突発性発疹		百日咳	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	6545	1.41	356	0.12	3081	1.03	16098	5.37	5320	1.77	765	0.26	1813	0.60	2509	0.84	46	0.02
北海道	330	1.43	4	0.03	205	1.41	316	2.18	216	1.49	2	0.01	33	0.23	90	0.62	2	0.01
青森県	109	1.70	-	-	24	0.59	86	2.10	56	1.37	15	0.37	13	0.32	18	0.44	-	-
岩手県	201	3.30	-	-	35	0.95	77	2.08	30	0.81	-	-	36	0.97	27	0.73	1	0.03
宮城県	215	2.22	3	0.05	46	0.78	342	5.80	113	1.92	3	0.05	69	1.17	88	1.49	2	0.03
秋田県	330	6.00	-	-	49	1.40	185	5.29	17	0.49	1	0.03	28	0.80	29	0.83	-	-
山形県	155	3.23	-	-	87	2.90	139	4.63	22	0.73	2	0.07	39	1.30	23	0.77	1	0.03
福島県	135	1.69	-	-	41	0.85	213	4.44	55	1.15	1	0.02	30	0.63	41	0.85	2	0.04
茨城県	56	0.47	6	0.08	70	0.96	305	4.18	85	1.16	4	0.05	33	0.45	41	0.56	2	0.03
栃木県	16	0.23	5	0.11	71	1.54	196	4.26	78	1.70	1	0.02	20	0.43	44	0.96	-	-
群馬県	51	0.51	1	0.02	104	1.68	246	3.97	89	1.44	5	0.08	25	0.40	50	0.81	-	-
埼玉県	307	1.20	15	0.09	234	1.46	937	5.86	308	1.93	18	0.11	262	1.64	170	1.06	1	0.01
千葉県	93	0.47	37	0.29	207	1.62	611	4.77	254	1.98	25	0.20	133	1.04	115	0.90	1	0.01
東京都	71	0.40	5	0.04	46	0.32	469	3.30	162	1.14	12	0.08	72	0.51	79	0.56	-	-
神奈川県	185	0.55	23	0.11	143	0.69	853	4.14	374	1.82	12	0.06	138	0.67	210	1.02	2	0.01
新潟県	257	2.60	40	0.67	176	2.93	521	8.68	74	1.23	6	0.10	8	0.13	61	1.02	-	-
富山県	284	5.92	5	0.17	58	2.00	197	6.79	54	1.86	1	0.03	11	0.38	28	0.97	-	-
石川県	116	2.42	3	0.10	26	0.90	470	16.21	48	1.66	11	0.38	35	1.21	23	0.79	1	0.03
福井県	46	1.44	7	0.32	21	0.95	210	9.55	42	1.91	1	0.05	22	1.00	19	0.86	-	-
山梨県	123	3.00	3	0.12	26	1.04	93	3.72	47	1.88	1	0.04	13	0.52	13	0.52	-	-
長野県	190	2.21	2	0.04	74	1.37	413	7.65	139	2.57	13	0.24	9	0.17	46	0.85	2	0.04
岐阜県	112	1.51	1	0.02	55	1.17	167	3.55	47	1.00	3	0.06	29	0.62	22	0.47	-	-
静岡県	227	1.66	6	0.07	78	0.91	508	5.91	254	2.95	5	0.06	51	0.59	93	1.08	1	0.01
愛知県	325	1.69	63	0.35	194	1.07	735	4.04	245	1.35	23	0.13	148	0.81	138	0.76	4	0.02
三重県	141	1.93	9	0.20	42	0.93	351	7.80	97	2.16	22	0.49	23	0.51	50	1.11	1	0.02
滋賀県	40	0.82	16	0.50	9	0.28	157	4.91	35	1.09	-	-	13	0.41	23	0.72	1	0.03
京都府	110	0.87	6	0.08	56	0.74	561	7.38	88	1.16	4	0.05	15	0.20	53	0.70	-	-
大阪府	216	0.72	9	0.05	136	0.70	1094	5.67	277	1.44	5	0.03	51	0.26	160	0.83	2	0.01
兵庫県	252	1.27	4	0.03	85	0.66	1033	8.07	260	2.03	34	0.27	38	0.30	124	0.97	1	0.01
奈良県	31	0.56	-	-	28	0.80	208	5.94	45	1.29	3	0.09	13	0.37	29	0.83	2	0.06
和歌山県	51	1.04	-	-	19	0.61	187	6.03	50	1.61	1	0.03	5	0.16	25	0.81	-	-
鳥取県	47	1.62	4	0.21	74	3.89	257	13.53	33	1.74	1	0.05	4	0.21	17	0.89	-	-
島根県	56	1.47	-	-	6	0.26	106	4.61	18	0.78	-	-	6	0.26	17	0.74	-	-
岡山県	100	1.19	2	0.04	34	0.63	280	5.19	81	1.50	3	0.06	14	0.26	19	0.35	-	-
広島県	116	1.41	4	0.08	96	1.88	309	6.06	105	2.06	5	0.10	36	0.71	47	0.92	-	-
山口県	148	2.11	26	0.53	46	0.94	274	5.59	125	2.55	37	0.76	36	0.73	67	1.37	1	0.02
徳島県	53	1.39	-	-	34	1.48	119	5.17	58	2.52	4	0.17	3	0.13	23	1.00	-	-
香川県	29	0.57	1	0.03	12	0.38	112	3.50	40	1.25	1	0.03	10	0.31	23	0.72	-	-
愛媛県	129	2.02	6	0.15	31	0.79	228	5.85	95	2.44	2	0.05	38	0.97	34	0.87	3	0.08
高知県	30	0.61	1	0.03	41	1.32	92	2.97	75	2.42	-	-	8	0.26	15	0.48	-	-
福岡県	233	1.43	8	0.08	73	0.70	636	6.06	220	2.10	111	1.06	102	0.97	87	0.83	4	0.04
佐賀県	58	1.49	1	0.04	15	0.65	110	4.78	60	2.61	47	2.04	16	0.70	20	0.87	1	0.04
長崎県	22	0.33	2	0.04	18	0.38	223	4.65	68	1.42	70	1.46	13	0.27	29	0.60	-	-
熊本県	80	0.99	13	0.27	26	0.53	295	6.02	129	2.63	108	2.20	33	0.67	44	0.90	-	-
大分県	129	2.22	1	0.03	35	0.97	340	9.44	77	2.14	15	0.42	19	0.53	37	1.03	-	-
宮崎県	151	2.52	8	0.22	54	1.46	429	11.59	99	2.68	73	1.97	33	0.89	44	1.19	8	0.22
鹿児島県	281	2.87	6	0.10	32	0.53	362	6.03	171	2.85	45	0.75	27	0.45	42	0.70	-	-
沖縄県	108	1.86	-	-	9	0.26	46	1.35	205	6.03	9	0.26	-	-	12	0.35	-	-

第3102表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

平成13年16週

	風 疹		ヘルパンギーナ		麻 疹 (成人麻疹を除く)		流行性耳下腺炎		急性出血性 結膜炎		流行性角結膜炎		急性脳炎 (日本脳炎を除く)		細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総 数	86	0.03	214	0.07	1415	0.47	4286	1.43	31	0.05	701	1.12	3	0.01	6	0.01	19	0.04
北海道	1	0.01	4	0.03	167	1.15	163	1.12	-	-	9	0.31	-	-	1	0.04	-	-
青森県	1	0.02	-	-	3	0.07	39	0.95	-	-	7	0.64	-	-	-	-	-	-
岩手県	1	0.03	-	-	3	0.08	10	0.27	-	-	8	0.67	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	5	0.08	12	0.20	31	0.53	-	-	3	0.27	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	24	0.69	23	0.66	-	-	1	0.14	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	2	0.07	36	1.20	-	-	2	0.25	1	0.11	-	-	-	-
福島県	2	0.04	-	-	49	1.02	33	0.69	1	0.08	17	1.42	-	-	-	-	-	-
茨城県	1	0.01	4	0.05	13	0.18	100	1.37	1	0.06	56	3.50	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	1	0.02	-	-	34	0.74	-	-	21	1.75	-	-	-	-	1	0.14
群馬県	1	0.02	8	0.13	15	0.24	44	0.71	2	0.14	38	2.71	-	-	1	0.10	-	-
埼玉県	7	0.04	9	0.06	47	0.29	378	2.36	1	0.03	35	0.97	-	-	-	-	-	-
千葉県	5	0.04	3	0.02	92	0.72	229	1.79	-	-	50	1.52	-	-	-	-	1	0.08
東京都	3	0.02	9	0.06	17	0.12	137	0.96	5	0.36	17	1.21	-	-	-	-	1	0.04
神奈川県	4	0.02	5	0.02	48	0.23	314	1.52	4	0.10	51	1.21	-	-	-	-	1	0.09
新潟県	-	-	1	0.02	-	-	150	2.50	-	-	7	0.78	-	-	-	-	1	0.08
富山県	-	-	1	0.03	-	-	34	1.17	1	0.14	1	0.14	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	21	0.72	33	1.14	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	1	0.05	1	0.05	10	0.45	109	4.95	-	-	4	1.33	1	0.17	-	-	1	0.17
山梨県	-	-	-	-	4	0.16	8	0.32	-	-	2	0.67	-	-	-	-	-	-
長野県	1	0.02	3	0.06	18	0.33	67	1.24	-	-	15	1.50	-	-	-	-	1	0.09
岐阜県	1	0.02	5	0.11	19	0.40	67	1.43	-	-	6	0.55	-	-	-	-	-	-
静岡県	4	0.05	5	0.06	23	0.27	169	1.97	-	-	24	1.20	-	-	-	-	1	0.13
愛知県	5	0.03	9	0.05	86	0.47	206	1.13	-	-	45	1.29	-	-	-	-	-	-
三重県	1	0.02	6	0.13	13	0.29	87	1.93	-	-	3	0.25	-	-	-	-	-	-
滋賀県	2	0.06	5	0.16	5	0.16	30	0.94	3	0.43	-	-	-	-	-	-	1	0.14
京都府	2	0.03	4	0.05	16	0.21	99	1.30	-	-	9	0.50	-	-	-	-	-	-
大阪府	16	0.08	30	0.16	71	0.37	255	1.32	-	-	25	0.48	-	-	-	-	-	-
兵庫県	2	0.02	16	0.13	13	0.10	120	0.94	-	-	23	0.66	-	-	-	-	-	-
奈良県	1	0.03	-	-	26	0.74	31	0.89	-	-	24	2.67	-	-	1	0.17	1	0.17
和歌山県	2	0.06	2	0.06	7	0.23	23	0.74	-	-	-	-	-	-	1	0.09	-	-
鳥取県	-	-	-	-	1	0.05	12	0.63	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	2	0.09	3	0.13	15	0.65	-	-	3	1.00	-	-	-	-	-	-
岡山県	2	0.04	1	0.02	7	0.13	46	0.85	-	-	12	1.00	-	-	-	-	-	-
広島県	3	0.06	9	0.18	66	1.29	85	1.67	2	0.17	30	2.50	-	-	-	-	4	0.29
山口県	-	-	1	0.02	12	0.24	69	1.41	3	0.33	10	1.11	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	3	0.13	2	0.09	14	0.61	-	-	-	-	-	-	1	0.17	-	-
香川県	-	-	-	-	9	0.28	85	2.66	-	-	2	0.67	1	0.20	1	0.20	-	-
愛媛県	-	-	2	0.05	9	0.23	89	2.28	-	-	20	2.86	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	2	0.06	49	1.58	15	0.48	-	-	6	2.00	-	-	-	-	-	-
福岡県	4	0.04	18	0.17	103	0.98	323	3.08	-	-	31	1.29	-	-	-	-	2	0.13
佐賀県	-	-	4	0.17	2	0.09	74	3.22	-	-	1	0.25	-	-	-	-	-	-
長崎県	2	0.04	16	0.33	26	0.54	50	1.04	8	0.80	25	2.50	-	-	-	-	-	-
熊本県	1	0.02	9	0.18	112	2.29	127	2.59	-	-	11	1.22	-	-	-	-	1	0.07
大分県	5	0.14	4	0.11	68	1.89	71	1.97	-	-	3	0.60	-	-	-	-	-	-
宮崎県	1	0.03	3	0.08	34	0.92	70	1.89	-	-	20	5.00	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	3	0.05	4	0.07	27	0.45	43	0.72	-	-	9	1.50	-	-	-	-	2	0.17
沖縄県	1	0.03	-	-	61	1.79	39	1.15	-	-	15	1.50	-	-	-	-	-	-

第3102表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別 平成13年16週

	マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎 (オウム病を除く)		成人麻疹	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	58	0.13	4	0.01	27	0.06
北海道	-	-	-	-	3	0.13
青森県	-	-	-	-	-	-
岩手県	1	0.05	-	-	-	-
宮城県	6	0.50	-	-	1	0.08
秋田県	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	1	0.11	1	0.11
千葉県	-	-	-	-	1	0.08
東京都	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-
新潟県	3	0.23	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-
石川県	1	0.20	-	-	3	0.60
福井県	-	-	-	-	1	0.17
山梨県	1	0.10	-	-	-	-
長野県	2	0.18	-	-	1	0.09
岐阜県	-	-	-	-	-	-
静岡県	1	0.13	-	-	-	-
愛知県	4	0.31	-	-	1	0.08
三重県	5	0.56	-	-	-	-
滋賀県	2	0.29	-	-	1	0.14
京都府	-	-	-	-	-	-
大阪府	3	0.27	-	-	2	0.18
兵庫県	-	-	-	-	1	0.07
奈良県	1	0.17	-	-	-	-
和歌山県	1	0.09	-	-	1	0.09
鳥取県	4	0.80	-	-	-	-
島根県	2	0.25	-	-	-	-
岡山県	1	0.20	-	-	-	-
広島県	3	0.21	-	-	-	-
山口県	2	0.22	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	1	0.20	-	-
愛媛県	5	0.83	-	-	-	-
高知県	1	0.13	-	-	4	0.50
福岡県	1	0.07	1	0.07	4	0.27
佐賀県	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-
大分県	8	0.80	1	0.10	2	0.20
宮崎県	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-

感染症週報 第3巻、第16号 平成13年5月11日発行
発行：国立感染症研究所

厚生労働省健康局結核感染症課
厚生労働省大臣官房統計情報部

事務局：国立感染症研究所感染症情報センター
〒162-8640東京都新宿区戸山1-23-1
TEL：03-5285-1111
FAX：03-5285-1129

URL：http://idsc.nih.go.jp/index-j.html
<国立感染症研究所 感染症情報センター>
http://www.mhlw.go.jp/
<厚生労働省>
http://www.forth.go.jp/
<旅行者のための海外感染症情報(厚生労働省検疫所)>

本週報は、感染症新法に基づくものであり、全国の医療従事者、定点医療機関、保健所、保健所設置市、特別区、都道府県、地方衛生研究所、検疫所の皆様のご協力を得て、国立感染症研究所感染症情報センターにおいて編集したものです。

また、本週報は速報性を重視しておりますので、今後調査などの結果に応じて、若干の変更が生じることがありますが、その場合には週報上にて訂正させていただきます。

「感染症の話」及び「読者のコーナー」の回答欄の内容に関する責は、それぞれの執筆者及び回答者に属しますが、内容に関するご質問、ご意見については事務局でお受けいたします。

なお、週報の内容について、学術的研究、あるいは公衆衛生活動にかかわる業務以外の目的においては、無断転載を禁じます。